

市に寄せられた募金で 岩手県 陸前高田市に車輛を寄贈しました。



陸前高田市
戸羽 太 市長

羽曳野市
市道 泰宏 副市長



11月2日(水)、国道340号線に架かる氷上橋のたもとにある陸前高田市仮庁舎にて車輛の贈呈式を行いました。陸前高田市の戸羽 太 市長は「羽曳野市民の熱い想いのこもったものをいただくことは、励みになりたいへんありがたい。これからも長いお付き合いをお願いします。」と話されました。



被災地の
本当の話をしよう

陸前高田市長が語るあの日とこれから

戸羽 太

被災地の本当の話をしよう

【ワニブックス刊】

3月11日、岩手県最南端の自然豊かな街であった陸前高田市は津波による甚大な被害を受けました。その街の市長が地震当日の様子からこれからの復興についてなどを書き下ろされました。

大阪府内の市においては陸前高田市をカウンターパートと定めています。(カウンターパートとは被災自治体と被災地外の自治体がパートナーとなり復興を支援する方式。)



陸前高田市水道事業所
大坂 幹夫 所長

本市では津波により給水タンク積載車輛やタンクなどがすべて流失し今後の給水活動が心配されておりました。そのような時、貴市から給水車寄贈のお話があり、たいへんありがたくお受けしました。万が一、他の自治体が災害などにより断水が発生した場合、必要に応じ給水の支援に駆けつけようと考えております。

三市災害相互協定に基づく職員の派遣について

台風12号および15号により被害を受けた和歌山県田辺市は奈良県橿原市と本市との3市の間で、平成8年11月より災害時の相互応援協定を結んでいます。

今回の災害に対し本市より支援の申し入れを行ったところ、田辺市より人的支援の応援要請を受けたため、必要とされる技術職員を派遣することになりました。派遣期間は11月末から12月中旬。

派遣される職員の業務内容は、農業用施設に関する復旧(農道やその他)に要する費用の査定です。今後も要請に基づきできる限りの支援策を講じてまいります。

羽曳野市危機管理室からのお知らせ

羽曳野市では災害時の対応として、危機管理職員を増員しました。長期的な対応が求められる災害時を想定し、冷静な判断が迅速にできるように考えた増員となっています。今後とも災害に対する行政の危機管理能力の向上に努めるとともに、減災を重視し、安心・安全な市民生活を守ることができるよう取り組んでまいります。